

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

自治体名 長崎県佐世保市（西九州させぼ広域都市圏）	<p>九州の西の端に位置する長崎県と佐賀県にまたがるエリア「西九州させぼ広域都市圏」。このエリアは 12 の市町がコンパクトに集まりながらも、働き方や暮らし方、自然や伝統文化、人との距離感や何気ない会話の温度など、地域ごとに個性があります。多様なこのエリアは少しの移動で様々な市町の魅力（ヒト・グルメ・自然景観・異国文化・焼き物・温泉・島 等々）を体感することができます。</p> <p>この「西九州させぼエリア」の中心都市である「佐世保市」を拠点に多様性を楽しむ周遊型ワーケーションをお楽しみください。</p> <p>■佐世保市 人口 227,386 人 (R7.4.1 現在 : 推計人口)</p> <p>「海軍さんの港まち」として、全国から多くの人々が集い移り住み、急速に発展してきた佐世保は、多様性を受け入れる風土があり、戦後、米海軍基地が置かれたことで、様々な文化が混在する異国情緒溢れる港町です。</p> <p>駅から徒歩0分で広がる港、昔ながらの朝市、懐かしさと新しさが交差する万津6区、約1kmある日本一元気なアーケードなど、街歩きも楽しめます。</p> <p>ハウステンボスや九十九島パールシーリゾートを始めとした観光資源も豊富で毎年多くの観光客の方々をお迎えしています。</p> <p>名物「佐世保バーガー」や「レモンステーキ」、そして新鮮な魚介類をランチ・ディナーで楽しんだ後は、外国人 Bar やジャズバーで夜の佐世保を楽しめます。</p>
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>佐世保港</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>きらきらフェスティバル（アーケードで乾杯）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>佐世保バーガー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>九十九島かき</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>外国人 Bar</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>西海国立公園「九十九島」</p> </div> </div>

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

アクセス方法 (参考経路)	<p>■長崎空港経由 羽田空港→長崎空港 約1時間30分 長崎空港→佐世保駅 バス:約1時間30分 車:約1時間10分</p> <p>■福岡空港経由 羽田空港→福岡空港 約1時間20分 福岡空港→佐世保駅 バス、JR、車:1時間30分~2時間</p> <p>※佐世保市から各広域圏市町へのアクセスは、車で30分~1時間30分圏内 ※五島列島（宇久島・小値賀町）へのアクセスは、 高速船:1時間30分 フェリー3時間</p> <p>日産レンタカー利用の場合は割引（半額程度）キャンペーンあり。</p>
主な地域課題	<p>人口減少、特に生産年齢人口である若年層の市外転出が顕著であり、それに伴う担い手不足を起因とする公共交通などの社会インフラを含む様々なサービスの低下が深刻な課題となっています。</p> <p>若者の転出の主な理由は就職や進学であり、これに対処するためには、若者と地域社会における仕事や日常生活上の関係性を築くことが重要であり、生まれ育った街への愛着、すなわち「シビックプライドの醸成」が移住や定住に重要な要素であると考えています。</p> <p>「シビックプライド」の醸成には、市内在住時に、地域資源や課題を知り、これらに関する行動を起こすことによって地域や地域住民・企業などの所謂「社会」との接点を創ることが望まれます。加えて、転出したとしても、地域のリアルタイムの情報に触れ、時には関係人口としての立場で関わることが可能な関係や仕組みの構築が必要となっています。</p> <p>そこで佐世保市役所では、令和6年4月1日に機構改革を行い、新たに「地域未来共創部」を組織するとともに、「若者活躍・未来づくり課」を新設し、「日本一、若者の夢を後押しするまち SASEBO」を目標に掲げ、若者のコミュニティを構築し、リアル・オンラインのハイブリッド方式で交流の場、居場所作りを行いました。</p> <p>コミュニティの中で、若者が自ら（主体的に、協力しながら）行う“夢の実現”や”まちづくり”の取組を支援することで、様々な企画が生まれ、そして実践、成功体験へと繋がっています。</p> <p>また、市内外の支援者（知識・ノウハウ、マンパワー・組織力、資金等）を集める仕組みづくりも実施しています。</p>
受入時期	12月

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

<p>ワーケーション プログラム内容</p> <p>右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。</p>	<p>市町をいくつかに絞って3泊～5泊の行程を推奨します。</p> <p>●参考プログラムとして、別紙「ワーケーションガイドブック」掲載のモデルコース（P23～26）をご提案可能です。 希望する滞在施設、グルメ、観光地、体験、会ってみたい地域のヒトなどは、ガイドブックをご参照いただき、事務局（佐世保市）にご相談ください。 ご相談（事務局への一任でも可）をもとにオーダーメイドのプログラムを構築します。</p> <p>●地域の若者（学生・社会人等）との意見交換 地方創生をテーマに意見交換をし、地域と首都圏、双方がどのように関われば地域活性化に繋がるか、検討を深めていただきます。 テーマ（例） ・商店街活性化について（若者が商店街を居場所とするためには） ・日本のアメリカ「SASEBO」をもっと有名に（米海軍基地がある街の利点を生かすためには） etc ※広域市町にもテーマを募る予定です。</p> <p>●行政との意見交換 令和7年度中の新たな取組として若者が実践するプロジェクトの評価イベント「アワード」を開催予定です。 仕事として関わる部分、企業として支援可能な部分など、関係構築の可能性を探るため、ディスカッションさせていただきます。</p>
<p>主な対象事業者</p>	<p>職種問わず（地域課題への関心や地方の若者との接点、地方の若者ニーズの把握などを希望している事業者）</p>
<p>受入上限数</p>	<p>10名程度</p>
<p>未就学児の子ども受入</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>・不可</p>
<p>事業者に期待すること</p>	<p>・滞在中の体験などを可能な範囲で自社HPや個人のSNS、その他媒体で情報発信をお願いいたします。 ・若者が地方にいながら、最先端のノウハウを持った企業との接点や、新しい体験が可能となる仕組みづくりを目指しています。企業として、又は個人として地方の学生と関係構築可能な分野があれば検討をお願いします。もちろん双方に利があることが前提であり、例えば商品モニターやテストマーケティング先、企業研修など、様々な観点からご検討いただければと思います。</p>
<p>留意事項</p>	<p>別紙「ワーケーションガイドブック」掲載のモデルコースを参考に希望のプログラム造成可能です。 ただし、受入時期などによっては不可となる体験、施設等もございます。 モデルコースに載っていない体験や施設等の希望も可能です。 事前協議を行いながらオーダーメイド型のプログラムを構築します。</p>